

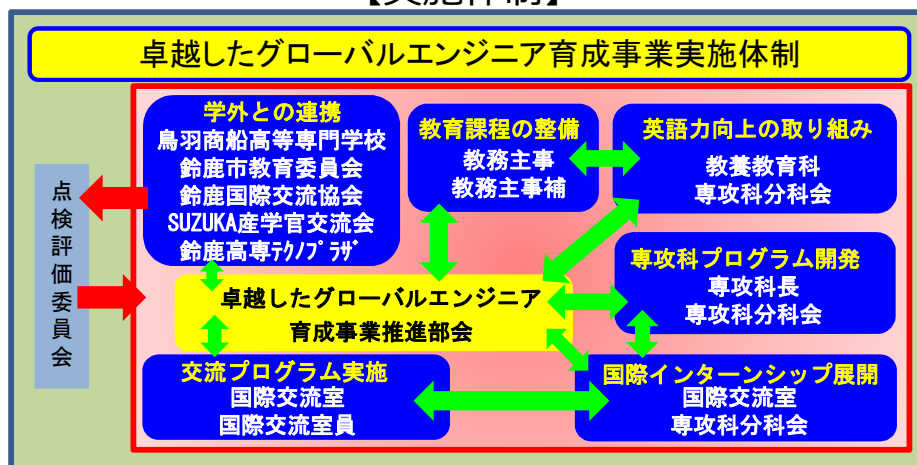


【取組の目的、内容】

国際インターンシップ、産業界と協働のグローバル・リーダー論、英語力向上、地域との連携等の取り組みを中心とした「グローバルエンジニアプログラム」を強力に推進し専攻科の高度化に呼応した「卓越したグローバルエンジニア」を養成する。

本事業では、「創造工学」で培った経験を低学年に展開し、本科1年に「工学基礎実験」（全学科共通の横系教育）、本科2年に「デザイン基礎」（問題発見・解決型学習）を新規開講し、グローバル人材に必要な能力の底上げをはかる。高学年および専攻科では、英語のみでの授業でビジネス英語を学ぶ「上級英会話」等により産業の国際化にも対応可能な実践的英語力を強化すると共に、当校OBで国際的に活躍している技術者を講師に招いての「グローバル・リーダー論」や近隣企業の協力により開拓した「国際インターンシップ」等、当校がこれまでに培ってきた人的資源や地域ネットワークを最大限活用した取り組みを通じて、専攻科の高度化に呼応した「卓越したグローバルエンジニア」を養成する。

【実施体制】



【工程表】

4月～(実施済)	7月～	10月～	1月～	次年度～
<ul style="list-style-type: none"> グローバルエンジニアプログラム開始 本科1年「工学基礎実験」開講 専攻科1年次「上級英会話」開講 	<ul style="list-style-type: none"> 専攻科生「国際インターンシップ」開講 専攻科生「海外研修」実施 SUZUKA産学官交流会、鈴鹿高専テックプラザ会員企業等との国際化に関するニーズ調査 	<ul style="list-style-type: none"> 専攻科1年次「グローバル・リーダー論」開講 本科2年「短期海外研修」実施 交流協定校への学生派遣 鳥羽商船高専、鈴鹿国際交流協会、鈴鹿市教育委員会等との協働化に関するニーズ調査 	<ul style="list-style-type: none"> 事業総括 ニーズ調査の分析 点検評価委員会および外部評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 左記のプログラムの継続に加え、 本科2年「デザイン基礎」開講 専攻科2年次「国際関係論」開講 ニーズ調査の結果を受けての国際化、協働化の更なる展開

【成果指標】

○H30年度末時点で、H29年度専攻科入学生「グローバルエンジニアプログラム」受講生9名中全員のTOEICスコア650以上(TOEFL,工業英検のスコア換算可)を達成する。

受講生	A	B	C	D	E	F	G	H	I
現状	500	575	755	540	510	735	555	595	625
目標	650以上	650以上	達成	650以上	650以上	達成	650以上	650以上	650以上

現状 平均点599 → 目標 全員650以上

○「国際インターンシップ」において、学生を派遣する地元企業数の増加 現状：H28年度 0社 → 目標：H30年度 2社以上

【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

○国際インターンシップの一層の推進、協定締結校とのさらなる交流強化、グローバル関連のカリキュラム改革に全学で積極的に取り組み、高度な技術を身につけ、国際的に通用する卓越したグローバルエンジニアを養成する。